

電子書籍をめぐる最近の国内外の主な動向について

- 国内における電子書籍市場は、近年、急拡大の様相(2009年度:約574億円*)。
- 国内における電子書籍をめぐる情勢の急激な進展。 *出典:『電子書籍ビジネス調査報告書』インプレスR&D

H22年3月

H22年7月

H22年11月



【各省庁の動向】

3省合同開催による懇談会において、作家、出版者等の関係者が広く集まり、検討を実施(H22年3月～H22年6月)

具体的な課題の検討へ

総務省における検討

経済産業省における検討

文部科学省における検討

【国立国会図書館の動向】

電子書籍の納本に係る答申(H22年6月)



今年度までの予算において、1968年までに発行された出版物等のアーカイブ化を実施。

【民間の動き(国内)】

ソニー、凸版印刷、KDDI、朝日新聞社による「電子書籍配信事業企画会社」の設立(H22年7月)
→「株式会社ブックリスタ」として事業会社化(H22年11月)

SONY、KDDIについても年内に端末を発売予定

「電子書籍出版協会」の設立(H22年2月)

「電子出版政策・流通協議会」の設立(H22年7月)

ガラパゴス(12月発売予定)(SHARP)



【国外の動向】

iPadの発売(Apple)(H22年5月)

Kindle第3世代の発売(AMAZON)(H22年8月)

ギャラクシーTab(11月発売)(サムスン)

Googleエディション(日本向けサービスについては来年早々にも開始予定)

